

## 通 教 月 報

## 診 療 情 報 管 理 研 究

令和 8 (2026) 年 5 月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人  
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 事業部教育 1 課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <https://jha-e.jp/>  
受付時間 10:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月 1 日

## ICD-11 施行開始

高橋 長裕

診療情報管理士通信教育 基礎課程小委員会 協力者  
日本診療情報管理学会 特別会員  
ちば県民保健予防財団 総合健診センター 顧問

受講生の皆さんは、診療情報管理士資格取得に向けて色々なことを一生懸命勉強されていることと存じます。医学的背景をお持ちでない方にとっては、随所に「意味不明」な言葉が出てきて、何のこともやら訳が分からないといった事が最大の悩みではないでしょうか。その中でも最大の難関が ICD コーディングではないかと思えます。

現在の受講生の皆さんは、ICD-10 によるコーディングを勉強されていることと思えます。ICD-10 は 30 年以上改訂がされておりましたが、この度 ICD-11 が 2019 年の WHO 総会で採択され、2022 年に発効、国内では 2027 年 1 月から ICD-11 に準拠した統計分類が施行されます。すなわち皆さんが診療情報管理士になる頃には、世の中では ICD-11 が使われている訳です。

ICD-11 については、皆さん既に色々と勉強されていることと思えますが、従来の ICD から画期的な変化を遂げております。最大の進化は、今まで分厚い本 (内容例示表) に頼っていたものが、コーディングは全てコンピューター上で行われることです。また、コード自体も、様々な詳細情報が複数のコードを使って一連のコードに盛り込まれる (クラスターコーディング) という点が、大きな特徴です。つまり、従来の ICD-10 では大雑把な病名しか登録できなかったのが、ICD-11 ではかなり詳細な分類が可能となり、当該患者さんの正確な傷病名、合併症、併存症等々の包括的なコーディングが可能になる訳です。そうすると、従来の ICD コーディングが標準病名マスターから適当な病名を拾って、これに相当する ICD-10 コードをつける、といった事でおさまっていたのが、これでは間に合わず、退院サマリーをしっかりと読み込んで正確なコードクラスターを記載する、といった事が求められることとなります。その為には、当然しっかりした医学的知識と ICD-11 を使いこなす技術が必要となりますが、これが誰にとっても容易なことではありません。しかしながら、このような正確かつ詳細な傷病データがしっかりコーディングされていれば、各医療機関において扱っている傷病群の性質、およびその詳細についての統計が簡単に手に入り、その病院の経営戦略などにも活用できる訳で、診療情報管理士の業務が病院の舵取りの最も重大な部分を担うこととなります。

このように重大な ICD-11 ですが、ブラウザに含まれる単語全ての日本語訳は完成しておりますが、日本語での病名検索、その他コーディングの為のシステムの開発は未完成であり、現時点では英語版の ICD-11 ブラウザでのコーディングしかできません。日本語でのコーディングが可能になるのが待たれる状況ですが、皆さんできる限り、ICD-11 についてお勉強しておくことをお勧め致します。

日本診療情報管理学会では、各レベルに応じた ICD-11 コーディング研修会を開催しておりますので、ご利用頂ければと思います。

(事務局より) 2026 年 5 月現在、診療情報管理士通信教育を受講されている方の教育内容や認定試験範囲は ICD-10 となり、ICD-11 の教育導入時期等は、未定です。いち早く ICD-11 を勉強したい方は、日本診療情報管理学会の特設サイト ([WHO 国際統計分類に関するサイト](#)) をご確認ください。